

第5号議案 明知鉄道沿線地域公共交通計画の一部改定について

1. 改定内容

(1) 自動運転の導入推進

自動運転の導入推進について、これまでの記載を具体化し、レベル4自動運転の実証実験の内容並びに実装に向けた取組を明確に位置付けるとともに、令和10年度のサービス開始を見据えたレベル4自動運転の実装目標を追記するため、本計画の一部を改定する。

具体的には、地域公共交通の維持・確保、運転手不足への対応及び交通事故の削減といった課題の解決に資する取組として、明知鉄道の岩村駅～岩村城下町間を対象とした自動運転バスの実証実験を段階的に実施し、安全性や運行の安定性を確認する取組を追記する。

明知鉄道沿線地域公共交通計画（抜粋）P65

【3-2 新たな技術を活用した付加価値の向上】

事業 3-2-1 自動運転の導入推進 【交通事業者・2市】

自動運転の実現は、交通事故の削減効果に期待されています。また、地域公共交通の維持・改善、運転手不足への対応などの解決につながることも期待されています。

そして、車内空間の高度化により、交通の課題解決だけでなく、移動空間の価値を変えていくことが可能となり、乗ってみたい、使ってみたい移動手段となります。車内外のセンサから交通状況や周辺情報を収集・解析することで、より安心・安全な運転に寄与することができます。さらに、ドライバー不足解消等により交通の利便性は向上し、輸送サービスの拡大やおでかけ機会が増え、地域の活性化にもつながります。

そこで、移動サービスにおける自動運転の活用を通じた持続可能な地域のモビリティ確保に向けた検討を進めます。

(実施内容)

- 新技術と地域課題の適合による課題整理
- 自動運転の実装に向けた実証実験及び検証
- 自動運転の実装

恵那市においては、明知鉄道の岩村駅～岩村城下町間（延長約2.1km）を対象ルートとし、当該ルート全区間において遅くとも令和9年度中にレベル4自動運転の実装※を目指します。

また、レベル4自動運転サービスについては、令和10年度のサービス開始を目標とします。

※レベル4自動運転の実装とは、レベル4自動運転に必要な走行環境条件の付与の取得まで

※朱書き部分追記